

はなわ

2013

4

平成25年4月1日

No.593

6年生の皆さん 今までありがとう！

3月末で閉校した高城小学校。6年生を送る会が3月7日(木)に行われました。縦割り班対抗のゲームが行われたほか、在校生から6年生8人へメダルや似顔絵など手作りのプレゼントが贈られました。くす玉割りもあり、今までお世話になった6年生へ感謝の気持ちを伝えました。現在、子どもたちは埴小学校児童、埴中学校生徒としてそれぞれ頑張っています。

CONTENTS (主な内容)

- 埴町再生可能エネルギー構想 … P 2 ~ 5
- 平成25年度当初予算 … P 6 ~ 9
- 140年の歴史に幕—高城小学校閉校 … P 10 ~ 19
- 埴町消防団 消防庁長官表彰旗受章 … P 20
- 地域おこし協力隊の体験記 … P 25



森林の活用で地域の活性化を図ります。

森林の整備に合わせ 今こそ

「再生可能エネルギー」への転換時期です

戦後の混乱期のなかで、先人たちは「未来の町づくりに生かしたい」と、雑木山に木を植えました。今、その木材は樹齢60年から70年の伐期を迎えています。しかし、後継者不足等の理由により、間伐等の山の手入れがおろそかになり、災害等の原因になることもあります。山を守るためには、国産材の活用こそ重要であり、併せて製品として利用価値が少ない木材を、再生可能エネルギーとして活用していくことが、この地方の発展にもつながります。

町総合計画で推進決定 資源の有効活用が目的

町づくりの基本となる第5次長期総合計画の中で、原発事故前から「木質バイオマス発電事業」の必要性をうたってきた。理由は、戦後植林された当地方の木材が伐期を迎えるため、木材を有効利用することは当地方の発展につながるためです。

木質バイオマス発電と 太陽光発電が町に有効

町は、この地方にあった再生可能エネルギーを模索するため、



森林は伐採しないと山は荒廃します

「再生可能エネルギー実用化ビジョン策定委員会」を設置し検討を進めてきました。その結果、平成23年度までの話し合いで、「太陽光発電と木質バイオマス発電」が有効であるという結論に達し、福島県に対しその報告をしています。さらに平成24年度事業として、木質バイオマス発電事業実施のための可能性調査を行ってきました。

今がビジネスチャンス 山の残材が有価商品に

再生可能エネルギーで発電さ



子どもたちも森林の大切さを学んでいます

れた電気を、電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する「固定価格買取制度」が、平成24年7月1日に導入されたことにより、新たなビジネスチャンスとして、太陽光発電や木質バイオマス発電事業が成り立つことになりました。「固定価格買取制度」の契約は20年となりますが、その後も事業は継続されます。これにより、燃料となる未利用間伐材では、原木換算で約7千円/m³、製材工場残材では約4千円/m³として取引されることを見込まれます。



埴町は製材業が盛んです

雇用創出が見込まれる 地域の活性化に効果大

木質バイオマス発電事業の実施で、今まで山に置き去りにされていた端材が有価物となるため、山の整備につながります。自然災害の防止への効果も考えられます。また、木材の付加価値が高まり、地元林業・木材産業の活性化につながります。さらに、企業の誘致で多くの雇用が見込まれ、町への税収をはじめ町内全体の活性化につながります。

Q&A

木質バイオマス発電事業に関するご質問にお答えします

Q：排出される水が心配です。

A：燃料と水は接することはありません。汲み上げられる井戸水は、ボイラーで蒸気になり、タービンを回転させた後、復水器で冷やされて水に戻り、またボイラー内に送られて蒸気へと変わるよう動きを繰り返します。場内の排水は水処理施設を経由し、再度純水にしてプラントに戻されます。場外の雨水については調整池を経由し、定期的に検査します。

Q：灰にはどのくらいのセシウムがいますか。

A：灰については、量がほぼ20分の1になり、2,000ベクレル/kg程度のセシウムが想定されます。その都度水を含ませコンテナ車に積み、郡外へ搬出します。(搬出場所は決まっています)

Q：バグフィルターの性能が心配です。

A：環境省測定で、除去性能は99.99%という結果で、東白衛生組合でも使用されています。同じような施設(福島・あらかわクリーンセンター)内の0.01%は0.008ベクレル/kgに相当し、緊急被ばく医療センター所長杉浦伸之氏から「健康に問題ない」というコメントをいただいています。

Q：20年の契約後はどうなるのですか。

A：国の固定価格買取制度が20年という契約ですが、その後も事業は継続される予定です。

Q：企業名はなぜ言えないのですか。

A：まだ契約をしていない段階ですので、今後事業が確定すれば、契約後に企業名を明らかにします。

Q：事業実施で町にはどのようなメリットがあるのですか。

A：発電所で働く人だけでなく、木材の伐採、チップの製造に携わる人の雇用も増加します。これまで山に放置されていた木材も燃料となるので、森林が整備されるほか災害防止にもつながります。また、スギ花粉対策にも有効です。

Q：なぜ今、木質バイオマス発電所を誘致するのですか。

A：本文でも掲載していますが、埴町では震災以前から再生可能エネルギーの導入を検討してきました。木質バイオマス発電所は、全国各地で建設されています。



菊池基文 町長

町は、第5次長期総合計画の中で再生可能エネルギーの推進をうたってきました。これは、町有面積の約8割が林野面積であり、戦後植林された木材が60年から70年の伐期を迎えているからです。多くの先人たちは、その有効活用を後世に残そうと、汗を流したに違いない。しかし今、山の荒廃は誰もが感ずることで、私は、間伐等の促進を図りながら林業を活性化するため、木質バイオマス発電事業の必要性を感じています。

昨年8月に町議会議員の皆さまから「木質バイオマス発電事業推進」の提言書をいただきました。さらに、再生可能エネルギー実用化ビジョン策定委員会からも「埴町は、太陽光発電と木質バイオマス発電事業が適している」との意見書を受け、町は積極的に企業誘致を推進し、現在に至っています。

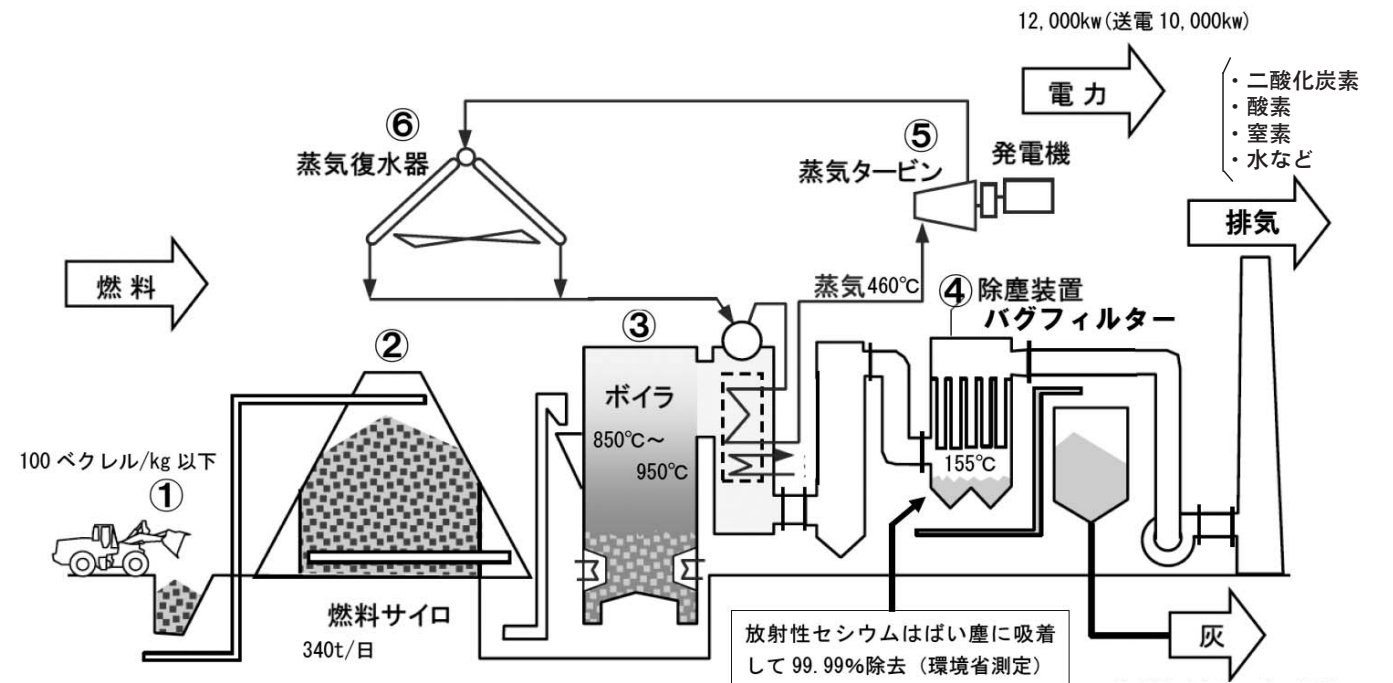
山・水・花の町づくりのため、町の資源をむだにせず、今後も美しい町づくりに努力いたします。



埴町の自然を体験するツアー

「山・水・花のまちづくり」に
森林の整備は不可欠です

木質バイオマス発電は、「だるまストーブ」とやかんの仕組みです。



※同じレベル施設の放射能濃度測定結果

排気・水ともにセシウム137・セシウム134いずれも「ND」です。
不検出

2,000ベクレル/kg程度の灰は、一般産業廃棄物として処分施設へ。
[国の基準は8,000ベクレル/kg]まで処分できます。

水は純水を循環使用
灰処理は万全な体制

発電用の水については井戸水を使用し、循環して使用します。施設内の雨水等の水処理は、水処理施設で過して再度プラントに使用するため、水は排出せず再利用します。安全に留意し、調整池を建設予定ですが、沈殿

さらには、近隣市町村の製材所の端材や建築廃材も使用する予定です。木材チップについては、運搬するトラックごとにベクレル計により検査し、平均100ベクレル/kg以下のものしか使用しません。(チップで搬入します)

安全対策を最重視 第三者委員会を設置

火力発電所の事故原因は、燃料の石油、ガス等の漏れがほとんどです。今回、木質バイオマス発電所の燃料は木材チップなので安全です。発電所は運転員が常駐し、監視しますのでトラブルに迅速に対応できます。また、トラブルが発生しないように、第三者委員会などを設置し監視する予定です。

材料等は地域限定です 間伐事業の利用・促進

今後、国・県と合わせて、国産材の推進と間伐材活用推進事業が今以上に展開される予定です。燃料については、県南・県中南部・いわき南部地区と限定しても、森林の年間成長量が31万立方であるため、間伐材等の燃料は充分確保されます。県南地方の森林資源は表1のとおりです。

| 項目 | 数値 |
|-----------------------|------------------|
| 森林面積 | 81,760 鈔 |
| 森林蓄積 | 23,189 千立方 |
| 年間成長量 | 317 千立方 |
| 埴町で予定されている施設での年間使用量は、 | 112 千トン(156 千立方) |

主な新規事業

- 再生可能エネルギー導入事業
(公共施設へ太陽光発電設備を設置)
- 医師確保対策事業
- ブランド・イメージ回復事業
- 図書館システム等導入事業
- 学校給食センター整備事業



公共施設へ設置するほか、太陽光発電システムを設置する一般家庭へ補助金を交付します

一般会計 歳出(支出)

「民生費」の内訳

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|---------|-----------|---------|----------|
| 社会福祉費 | 2億9,679万円 | 934万円 | 5.9% |
| 児童福祉費 | 2億7,867万円 | 1,320万円 | 5.5% |
| 老人福祉費 | 2億1,979万円 | 1,936万円 | 4.4% |
| 障がい者福祉費 | 1億8,269万円 | 995万円 | 3.6% |

「総務費」の内訳

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|-----------|-----------|---------|----------|
| 総務管理費 | 6億8,198万円 | 3,146万円 | 13.5% |
| 徴税費 | 7,663万円 | △137万円 | 1.6% |
| 戸籍住民基本台帳費 | 6,038万円 | 2,231万円 | 1.2% |
| 選挙費 | 1,651万円 | 169万円 | 0.3% |
| 監査委員費 | 809万円 | △4万円 | 0.2% |
| 統計調査費 | 90万円 | 20万円 | - |

「教育費」の内訳

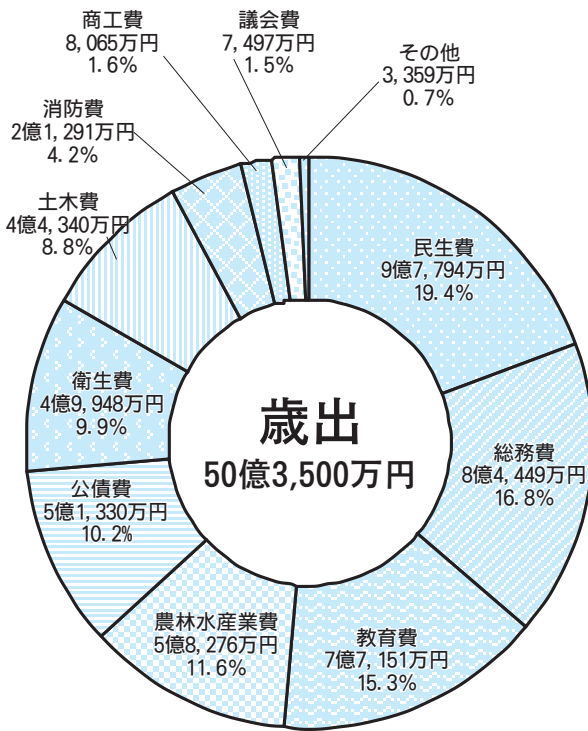
| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|-------|-----------|------------|----------|
| 社会教育費 | 1億9,018万円 | 1億21万円 | 3.8% |
| 保健体育費 | 1億7,841万円 | 2,658万円 | 3.5% |
| 幼稚園費 | 1億3,303万円 | 2,463万円 | 2.7% |
| 小学校費 | 1億2,781万円 | △2億7,941万円 | 2.5% |
| 教育総務費 | 9,006万円 | 1,323万円 | 1.8% |
| 中学校費 | 5,202万円 | △856万円 | 1.0% |

「農林水産業費」の内訳

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|-----------|-----------|------------|----------|
| 農業費 | 2億9,659万円 | 4,521万円 | 5.9% |
| 林業費 | 1億4,049万円 | △1億5,008万円 | 2.8% |
| 農業集落排水処理費 | 1億2,178万円 | 2,934万円 | 2.4% |
| 地積調査費 | 2,390万円 | △2,491万円 | 0.5% |

「衛生費」の内訳

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 東白衛生組合負担金 | 2億603万円 | △1,056万円 | 4.1% |
| 保健衛生費 | 1億5,910万円 | 1,080万円 | 3.2% |
| 上水道・給水事業費 | 1億3,435万円 | 97万円 | 2.6% |

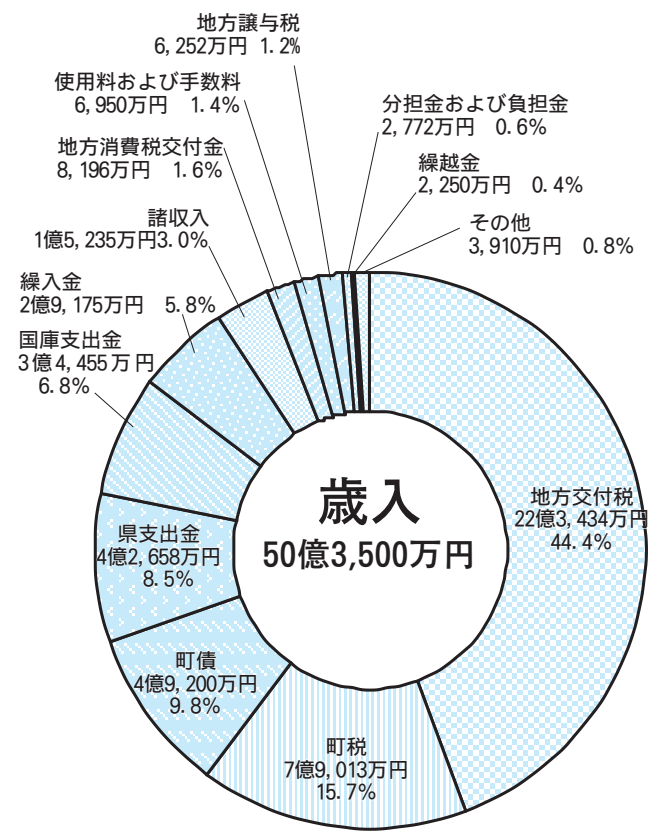


平成25年度

今年度の一般会計予算は、50億3,500万円

問い合わせ 総務課財政係 ☎43-2111

一般会計 歳入(収入)



平成25年度の予算についてお知らせします。地方財政を取り巻く環境は依然として厳しいですが、効率的な行財政運営に努め、魅力あるまちづくりのため予算を重点配分しました。埴町における平成25年度の予算規模は、一般会計で50億3,500万円、前年度比2・3%の減、特別会計で24億4,013万円、前年度比1・7%の増となりました。

「町税」の内訳

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|-------|---------|----------|----------|
| 固定資産税 | 4億113万円 | △1,237万円 | 8.0% |
| 町民税 | 3億66万円 | 2,864万円 | 6.0% |
| 町たばこ税 | 5,464万円 | 1,303万円 | 1.1% |
| 軽自動車税 | 2,182万円 | 49万円 | 0.4% |
| 入湯税 | 1,186万円 | 375万円 | 0.2% |
| 鉱産税 | 2万円 | - | - |

「その他」の内訳

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 | 予算に占める割合 |
|-------------|---------|--------|----------|
| 財産収入 | 1,707万円 | 21万円 | 0.3% |
| 自動車取得税交付金 | 1,617万円 | 87万円 | 0.3% |
| 地方特別交付金 | 210万円 | △16万円 | - |
| 利子割交付金 | 144万円 | 2万円 | - |
| 交通安全対策特別交付金 | 110万円 | △10万円 | - |
| 配当割交付金 | 91万円 | △36万円 | - |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 21万円 | △1万円 | - |
| 寄附金 | 10万円 | - | - |

用語解説

【一般会計と特別会計】
地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、全般的な経費を処理する会計。特別会計は、特定の事業を行うために、歳入(収入)・歳出(支出)を一般会計と区分して経理するための会計。

- ▼【歳入】
地方交付税 地方自治体の財政力に応じて国から配分されるお金。自治体間の財政格差を縮め、全国どこでも必要最低限の生活ができるようにすることが目的
- ▼町税 町民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など町が収納できる税金
- ▼町債 町の借金。一時的に大きな支出が必要ときや、将来、経費を負担することがふさわしい場合に決められた手続きで借りるお金
- ▼国庫支出金 町が行う仕事に対し、国や県が出す補助金など。使い道はあらかじめ決められている
- ▼地方消費税交付金 消費税のうち地方自治体に交付されるお金
- ▼地方譲与税 国が国税として集めたお金を地方自治体に配分するもの
- ▼繰入金 基金(預金)から繰り入れるお金
- ▼【歳出】
民生費 主に高齢者、障がい者子ども、ひとり親福祉などに使われるお金
- ▼教育費 学校や公民館など教育施設の整備や運営に使われるお金
- ▼総務費 選挙や税金の徴収、広報紙の発行など行政運営に使われるお金
- ▼農林水産業費 農家の支援や水路の整備など農業振興に使われるお金
- ▼公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
- ▼衛生費 ごみ処理や母子保健、検診などに使われるお金
- ▼土木費 橋や道路などの整備に使われるお金
- ▼消防費 消防施設の整備や、消防組合の負担金
- ▼議会費 町議会の運営などに使われるお金
- ▼商工費 町内の商工業者などの支援に使われるお金

- ▼【性質別内訳】※8ヶ参照
補助費等 各種の補助金や負担金として使われるお金
- ▼人件費 職員の給料や議員の報酬として使われるお金
- ▼物件費 消費的性質をもつ経費。賃金、旅費、交際費、需用費など
- ▼公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
- ▼投資的経費 建物の建設や道路などを整備するために使われるお金
- ▼繰出金 一般会計から特別会計に繰り出されるお金
- ▼扶助費 福祉や医療の費用として給付されるお金
- ▼維持補修費 道路、公共施設などを管理するために必要なお金

消防費

■消防施設整備事業
那倉地区の防火水槽設置、台宿地区の消防ポンプ自動車購入等の施設整備に努めます。
4,172万円

特別会計

《国民健康保険》
■保険給付
特定健診や脳ドック補助事業を効果的に実施し、被保険者の健康保持の支援を図り、医療費削減に努めます。
7億4,761万円

■高額医療費共同事業拠出金
高額医療費の保険者(町)負担分を平準化するため、国保連合会に拠出します。
1億3,961万円

■後期高齢者支援金
後期高齢者医療に対し支援をします。
1億3,603万円

《後期高齢者医療》
■後期高齢者医療広域連合納付金
後期高齢者医療制度は、75歳以上の全ての高齢者を対象にするもので、福島県を保険者とする広域的な医療制度です。町は、徴収した保険料と町負担分を広域連合に納付します。
8,837万円

《介護保険》
■保険給付
要介護者・要支援者に必要な介護サービスを給付します。
7億7,750万円

■地域支援事業
高齢者が住みなれた地域で、自立した生活を安心して送れるよう「地域包括支援センター」を中心に、介護予防事業等に取り組みます。
2,118万円

特別会計の平成25年度予算額

| 項目 | 予算額 | 対前年度比較 |
|------------------|------------|---------|
| ◆国民健康保険 | 11億6,247万円 | △809万円 |
| ◆笹原財産区 | 349万円 | 252万円 |
| ◆農業集落排水処理事業 | 1億5,024万円 | 1,181万円 |
| ◆埴林間工業団地用地取得造成事業 | 1,701万円 | 500万円 |
| ◆公共下水道事業 | 1億7,694万円 | △28万円 |
| ◆介護保険 | 8億3,923万円 | 2,820万円 |
| ◆後期高齢者医療 | 9,075万円 | 158万円 |
| 計 | 24億4,013万円 | 4,074万円 |

| | | |
|--------|-----------|------------|
| ◇上水道事業 | | |
| 収益的収入 | 2億2,637万円 | 134万円 |
| 収益的支出 | 2億2,364万円 | 492万円 |
| 資本的収入 | 2億5,050万円 | △2億1,304万円 |
| 資本的支出 | 3億3,407万円 | △2億951万円 |

土木費

■町道改良事業
町道板庭田野作湯舟線・桜木町末広線の改良を行います。
1億1,061万円

■橋梁維持事業
米山橋の大規模改修に取り組みます。
6,900万円

■除雪機購入費補助金
除雪機の購入費用に補助金を交付します。
250万円

商工費

■新卒雇用奨励金
埴工業高校卒業者を中心に、新卒者の地元定着を図るため、新規雇用をする町内企業に奨励金を交付します。
300万円

■住宅リフォーム助成事業
地場中小建築業者の育成と住民生活向上のため、住宅リフォーム費用の一部を助成します。
200万円

農林水産業費

■米全袋検査事業
安全・安心を確保するため、米を全袋検査します。
5,585万円

■振興作物生産奨励事業
地域の基幹産業である農業振興策として、竹粉農法・ダリア切り花栽培・カラー新品種導入に取り組みます。
1,894万円

■農業体質強化基盤整備促進事業
中野地区・高田地区の用水路等の改修を行います。
1,595万円

■ブランド・イメージ回復事業
町のブランド・イメージ回復のために実施する事業に対して補助金を交付します。
1,381万円

■ホイルローダ購入事業
除雪等に対応するため、ホイルローダを購入します。
1,100万円

■林道開設事業
林道大日向Ⅱ線・林道広瀬薄久保線の開設に着手し、林業振興を図ります。
7,671万円

総務費

■情報化推進事業
IP告知システム・地上デジタル再送信システムを運営管理し、適時適切な情報発信に努めます。
4,925万円

■再生可能エネルギー導入事業
災害発生時の防災拠点となる公共施設へ太陽光発電設備を設置します。
9,750万円

■住宅太陽光発電設置補助事業
再生可能エネルギーの普及促進を図るため、新たに太陽光発電システムを設置する一般家庭へ補助金を交付します。
800万円

■地域おこし協力隊活動事業
地域活性化のため、地域おこし協力隊の活動を支援し、地域活性化アドバイザーへの委託事業を実施します。
1,298万円

衛生費

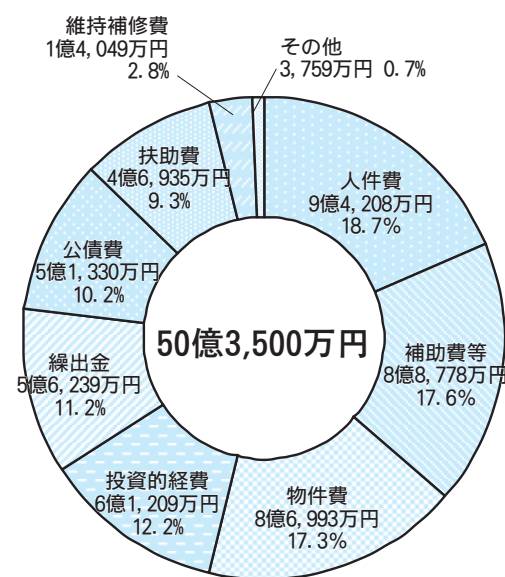
■予防接種事業
これまで実施してきた予防接種に加え、子宮頸がん・小児肺炎球菌・ヒブ(細菌性髄膜炎)ワクチンの接種を実施します。
2,719万円

■家庭用生ごみ処理機購入補助金
ごみ減量化とリサイクル意識高揚のため、家庭用生ごみ処理機を購入する世帯に補助します。
45万円

■合併浄化槽設置整備事業補助金
下水道等の集合処理が困難な地域の居住環境向上のため、合併浄化槽を設置するものに補助金を交付します。
1,092万円

■医師確保対策事業
埴厚生病院の医師確保のための運営費等を負担します。
166万円

一般会計性質別内訳



新年度がスタート



文・麻山晃邦

副町長 随想

慌ただしく年度末が過ぎ、新年度がスタートしました。皆さまも一緒に仕事や活動をする人が変わることなどにより、新たな気持ちで毎日を過ごしていってほしいと思います。私自身は、働き始めてからはこの時期以外に異動や引越しをすることが多かった(埴町に来たのも8月です)ので、4月に気持ちが変わるといって感じはあまりなく、また、農作物などの目的や、国によっても何月を始めとするかは異なるようですが、芽吹きの春を年度の始めとすることは普通の日本人の感覚には合っているのではないかと。期限や締め切りがないと先延ばしにしがちな私にとって、何らかの時間の区切りを与えられることはありがたく、今後もうまく利用しながら気分を切り替えたり、それまでとは違うことに取り組んでみたいものにしてほしいと考えています。

これらの事業に取り組みます!

平成25年度の主な取り組みや新規事業などを紹介します

民生費

■国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療繰出金等
国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各会計に、法律で定められた町の負担分を支出します。
3億9,846万円

■子ども手当支給事業
中学3年生までの子どもを持つ親に子ども手当を支給します。
1億4,816万円

■障がい者支援事業
障がいのある方々の日常生活に必要な支援や自立した生活に必要な知識・技能を身につけるための支援に取り組みます。
1億5,268万円

■保育園運営事業
保育に欠ける児童を保護するため、埴保育園を運営します。
8,301万円

■子ども医療、妊産婦医療助成事業
18歳(高校3年生)までの子ども・妊娠5カ月目から出産日翌日までの妊産婦・ひとり親家庭の医療費を町が負担します。
4,573万円

教育費

■埴小学校校舎整備事業
埴小学校校舎へエアコンを設置します。
5,000万円

■旧高城小学校体育館耐震補強・大規模改修事業
旧高城小学校体育館の耐震補強・大規模改修を実施します。
7,650万円

■学力向上対策事業
町内小中学校の学力向上のため、教育委員会に指導主事を配置し教員の指導力向上に努めます。
1,000万円

■小・中学校特別支援教員等配置事業
小・中学校の体制充実を図るため、特別教育支援員・複式学級補正教員を配置します。
942万円

■異文化体験研修事業
国内語学研修施設を利用して中学生(希望者のみ)対象に異文化に触れる機会を与えます。
253万円

■図書館システム等導入事業
図書館の管理運営に係るシステムを導入します。
644万円

■学校給食センター整備事業
学校給食センターの整備に取り組みます。
3,050万円

学びの城 健児の城 心の城



校旗

地域の誇り・高城小学校。明治6年に植田小学校として開校以来、何度かの改称の後、昭和30年の合併により埴町立高城小学校に。その後、伊香分校との統合、真名畑小学校との統合を経て現在に至りました。140年間にわたって学校、保護者、地域が一体となって歴史と伝統を築いてきました。

しかしながら、近年の急激な児童数減少などによって、3月いっぱいでのその歴史を閉じることになりました。



高城小最後の卒業式

卒業の喜びとともに閉校の寂しさ 二つの思いが交錯する

旅立ちを祝うにふさわしい穏やかな日となった3月22日(金)、埴町立高城小学校最後の卒業式が行われました。

午前9時から行われた式には、卒業生8人と在校生32人、教職員、保護者、来賓など約80人が出席。

小野則夫校長が卒業生一人一人の名前を読み上げ、卒業証書を授与。卒業生は「マジシャンになりたい」「看護師になりたい」など将来の夢を壇上から披露しました。

式辞に立った小野校長は、卒業生一人一人の思い出を話したほか「自分らしさを大切に、自分の良さや可能性を生かしながら自信を持って生きていってほしい」とエールを送りました。

続いて来賓の菊池基文町長、鈴木道男・町議会議員、鈴木義男・父母と教師の会会長の3人が祝辞を寄せました。

卒業生は「みどり豊かな思い出あふれる わたしたちの母校 高城小学校。私たちはこのすばらしい6年間を忘れません。ありがとう高城小学校。さようなら高城小学校。さようなら高城小学校。さようならさようなら さようなら」と別れの言葉を述べました。

在校生児童は「いつもいつでも みんなの目標だった6年生。学んだことを忘れず 進んでいきます」とお礼の気持ちを



上：6年間の思い出がよみがえる一涙する卒業生
右：6年生との別れに涙一別れの言葉を述べる在校生

※平成24年度末での
卒業生総数 6,333人

式終了後、6年生教室では最後の学活が行われました。卒業生たちはお世話になった担任の菊池邦子先生へプレゼントを渡したほか、両親へ感謝状を贈っていました。

8人の卒業生は、6年間の高城小で過ごした日々を誇りに、未来への一歩を踏み出しました。

述べました。



上：この日のことは一生忘れない(卒業生・保護者・教職員みんなで記念撮影)

右：たくさんの愛情をありがとう(卒業生から両親へ感謝状が手渡されました)

右下：中学校へ行ってがんばってください(在校生全員で卒業生を見送りました)



すてきな仲間たちでした



5・6年担任
きくち くにこ
菊池邦子先生

月日がたつのは早いもので、あっという間にこの日を迎えてしまいました。寂しい気持ちですが、今日は晴れの門出、みんなを笑顔で送り出します。

本当にすてきな仲間たちでした。本当に優しい仲間たちでした。本当にがんばりやの仲間たちでした。

これからも、みんなの合言葉「なかま」 ㊤ごやかに過ごし ㊦ちを認め合い ㊧ちがいを正してあげられる仲間であってほしいです。

私はずっとずっと皆さんを応援しています。卒業おめでとう！

歴史と伝統を振り返り、未来へつなげる

地域とともに140年

History

—高城小の歩み—

高城小学校は、明治6年10月に植田小学校として開校以来、明治20年植田尋常小学校、昭和16年高城国民学校、昭和22年高城村立高城小学校、昭和30年の合併により埴町立高城小学校と改称されました。その後、昭和47年に伊香分校との統合、昭和49年に真名畑小学校との統合を経て現在に至っています。

子どもたちに目を向けると、緑を大切にする活動を続けた緑の少年団、仲間と励まし合い、ひたむきに練習に励み、その成果を発表した郡音楽祭・郡陸上競技大会、一人一人の個性や能力を発揮した各種コンクールなどさまざまな場面で活躍しました。これまでの歩みを振り返ります。

明治

- 6年 大字植田字坂ノ下36 現在の熊野神社境内に校舎を新設、植田小学校と称し開校
- 7年 真名畑、伊香に分校を開設
- 8年 茗荷集落に分校を開設
- 9年 真名畑分校は真名畑小学校と改称し独立茗荷分校となる
- 10年 台宿に出張校開設
(教師が常勤せず、出張して授業を実施)
- 12年 伊香分校が伊香小学校として改称し独立
- 20年 植田尋常小学校と改称し、真名畑、茗荷、内川、関岡、高野、山下、伊香、台宿に分教室を設置

大正

昭和

- 22年 植田村ほか6カ村が合併し高城村と改名
- 23年 高等科を設置、高城村尋常高等小学校と改称入山分校が所属となる
- 16年 高城国民学校と改称、高城国民学校真名畑分校と改称
- 22年 高城村立高城小学校と改称
- 29年 関岡小学校、台宿小学校と改称し独立
- 30年 町村合併により埴町立高城小学校と改称茗荷分校は分離し内川小学校に所属
- 32年 校歌制定
- 39年 真名畑分校と入山分校が統合し、真名畑小学校および入山分校と改称
- 47年 伊香分校との統合により、大字植田字森戸25番地に高城小学校として開校
- 同 創立100周年記念式典挙行、校旗の新調
- 49年 真名畑小学校と統合
- 同 校舎、プール、屋内運動場落成記念祝賀会挙行

平成

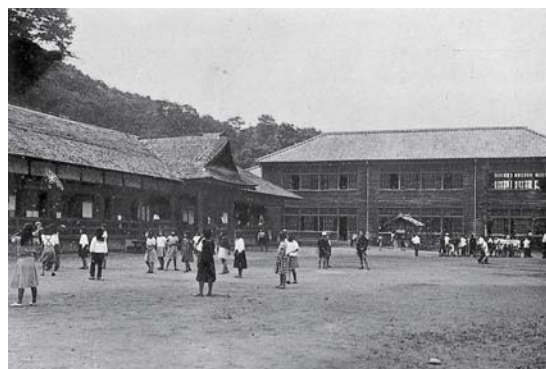
- 5年 創立120周年記念式事業、学校跡地標示板・記念植樹、記念講演
- 14年 創立130周年記念事業、ピアノコンサート開催
- 18年 みどりの大賞「青少年団体育成賞」受賞
- 19年 緑の少年団活動実績発表大会
特選(県知事賞)受賞
- 同 みどりの奨励賞受賞
- 21年 第31回全国育樹祭および全国緑の少年団活動発表大会参加
- 22年 特選(県知事賞)受賞
- 22年 第21回緑の少年団全国大会参加(青森市)
- 24年 緑の少年団活動発表審査
特選(県知事賞)受賞
- 同 愛鳥モデル校に指定
- 25年 緑の少年団解団式
最後の卒業式・閉校記念式典
- 同 3月31日 閉校



平成14年度 ダリアの中で



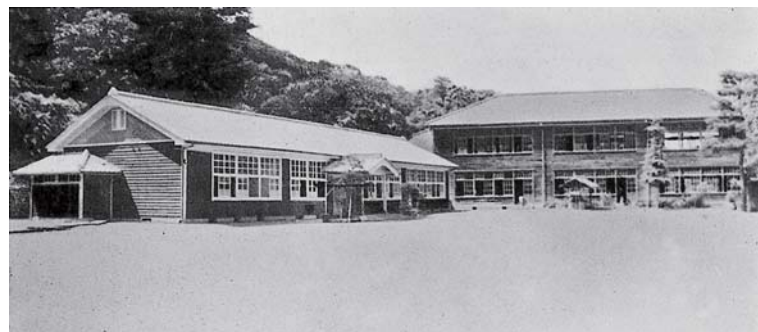
昭和63年度 最初の鼓笛隊によるパレード



昔風の玄関のあった旧校舎



平成2年度 宿泊訓練



昭和28年ごろ 校舎全景



平成24年度 「きみこそみらい」 イッセー尾形さんとの劇づくりを行いました



平成22年度 郡音楽祭

Thank you for a memory
わが高城校
思い出は永遠に一



昭和30年代運動会



校章

高城小学校 校歌

作詞 鈴木 泰芳
作曲 明本 京静

一 はるかに遠き 山波の
布引山に みどりなす
若葉の如く美しく
明るくつよく 伸びてゆく
学びの城ぞ 我が高城校

二 光り輝く 久慈川の
流れにうつす さくら花
ゆめも豊かに 希望あり
御殿河原に きたえたる
健児の城ぞ 我が高城校

三 ほこりも高き 日本の
栄えはぐくみ 萬国の
平和を守る かねの音に
楽しくはげむ 師の教え
心の城ぞ 我が高城校

忘れない わが母校 歴史を胸に刻む—閉校記念式典

最後の卒業式の翌日3月23日(土)に行われた閉校記念式典。同校最後の卒業生や在校生、歴任教職員、地域住民など220人が出席しました。

小野則夫校長の式辞、鈴木義男統合準備委員長あいさつ、教育長および来賓のあいさつがあったほか、町からの記念品が児童代表の松本咲輝さんに贈られました。

その後、「高城小が大好きです。塙小でも頑張ります」「高城小での思い出は一生忘れません」など、全児童40人一人一人による思い出と抱負発表があり、最後に児童全員声を合わせ「高城小学校での思い出を胸に、未来へはばたきます」と発表。会場から盛大な拍手が送られました。

そして式の終盤、会場全員による校歌斉唱があった後、校旗返納。小野校長と児童代表の緑川翔大くんが、高澤和子町教育委員会教育委員長へ140年の歴史を刻んだ校旗を返納すると、会場内では涙する姿が数多く見られました。



「高城小で学んだことや思い出は忘れません」 全児童40人が、それぞれの思い出と抱負を発表

式典終了後には「思い出を語る会」が塙農村勤労福祉会館で行われ、愛着ある学校への思い出を語り合いました。



会場内に響き渡った校歌斉唱



歴史を刻んだ校旗を返納
左から：小野校長、緑川翔大くん、高澤教育委員長

「心の城」ついでに「心」も輝き続ける

昨年9月、塙小学校との統合と高城小学校の閉校が教育委員会から通知されました。学校では、子どもたちの心情に十分配慮しながら、不安を取り除くための取り組みを進めるとともに、さまざまな活動をしてきました。

緑の少年団活動や各種大会での活躍など、子どもたちにとってこの学校は「学びの城」「健児の城」「心の城」でした。

子どもたちは4月から塙小児童、塙中生徒となりました。高城小で培ったことを糧に、今後ますます成長していくものと確信しています。

高城小での思い出が、子どもたちはもちろん地域の方にとって、「心の城」としていつまでも輝き続けることを願っています。長い間、本当にありがとうございます。

高城小の精神を受け継ぐ

子どもたちの未来のため決断した統合。地域の教育の中心的役割を担ってきた学校がなくなることはとても寂しいですが、長い歴史と伝統は学校史の貴重な1ページとして刻まれます。すばらしい学校でした。

学校は閉校しても、わたしたちはその精神を受け継いでいきます。学校を支えた全ての皆さまに感謝します。本当にありがとうございます。

統合準備委員長(PTA会長)
鈴木 義男さん
(昭和49年度卒・真名畑)



親子4代で高城小

親子で閉校に関われたことが感慨深いです。先生や児童・保護者・地域がまとまっていた学校。5年生になった娘(次女)もこの学校で卒業させてあげたかったです。塙小でもがんばれ高城っ子！

松本利恵さん
(植田・昭和62年度卒)



わが母校 今までありがとう

学年問わず、仲が良かった高城小。ヘチマを育てたことや裏山で遊んだ緑の少年団、芋煮会、学習発表会などが思い出深いです。高城小は思い出の場所。今まで本当にありがとうございます。

鈴木重臣さん
(真名畑・平成13年度卒)



この学校は地域の誇り

小学校のころの思い出は、今でも私の宝物。閉校は時代の流れで仕方ないですが、やはり寂しいです。子どもたちには、この学校のことをいつまでも覚えてほしいですね。

青砥淳子さん
(伊香・昭和43年度卒)



母校の思い出はいつまでも—
(式典終了後、思い出を語る会が行われました)

小野 則夫
第33代塙町立高城小学校長





すずき あやね
鈴木 彩音
1年

わたしは、運動会が一番の思い出です。埴小でも、運動会をがんばりたいです。



ほり いっせい
堀 壱成
1年

ぼくは、学習旅行でたくさんの生きものと出会えました。埴小でも楽しみたいです。



さかがみ さり
坂上 咲里
1年

わたしは、4人で高城小に入学したことが思い出です。これからも仲良くしたいです。



すずき けんたろう
鈴木 健太郎
1年

ぼくは、二重とびができるようになりました。埴小でも、なわとびをがんばります。



かめやま ひな
亀山 陽菜
2年

わたしは、勉強のときに先生やみんなに支えてもらったことが一番うれしかったです。



おかざき わく
岡崎 湧
4年

ぼくは、高城小学校にいろいろな思い出があります。閉校になったけれど、これからもがんばります。



あおと せいら
青砥 世来
4年

高城小学校では、遊びも勉強も楽しかったです。埴小での不安もあるけれど、がんばりたいです。



ふなき さや
舟木 紗耶
4年

わたしは高城小が大好きでした。閉校したけれど、埴小へ行ってもがんばりたいです。



こまつ だいと
小松 大翔
4年

高城小学校で、みんなと遊ぶのが楽しかったです。埴小学校に行ってもがんばりたいです。



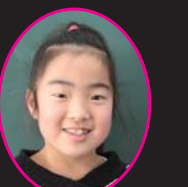
いしい そうた
石井 颯太
4年

高城小が閉校になるのは残念です。でも、今まで学んだことを忘れずがんばりたいです。



こまつ ゆうと
小松 夢翔
2年

ぼくは、1年生のマラソン大会で新記録を出せたことが一番心に残っています。



さかがみ さえ
坂上 彩絵
2年

わたしは、みんなと楽しく笑いながら勉強をしたことが一番の思い出です。



すずき まお
鈴木 真央
2年

お母さんとお兄ちゃんが卒業した高城小学校が大好きです。埴小学校でもがんばります。



よしなり かずき
吉成 和真
2年

ぼくは、なわとびで2分間とびやあやとび、二重とびができたことがうれしかったです。



かなざわ ゆうと
金澤 優人
2年

ぼくは、イッセー尾形さんと「きみこそみらい」で遊んだことがすごく楽しかったです。



あおやま せいら
青山 聖羅
4年

高城小がなくなってしまふけれど、埴小の皆さんと仲良くしたいです。



すずき たいよう
鈴木 大陽
4年

4年間育ててくれてありがとうございます。埴小学校に行ってもがんばります。



よしなり ゆりあ
吉成優梨亜
5年

毎朝となえた合言葉を生かして、これからも友達と仲良く助け合って生活したいと思ひます。



きくち だいき
菊池 大輝
5年

5年間通った学校がなくなってしまうのはさみしいけれど、埴小でも勉強や運動をがんばります。



おおしき あき
大越 亜季
5年

高城小学校がなくなってまうけれど、この学校での思い出は忘れないうでいたいです。



よしなり ゆうか
吉成 佑香
2年

わたしは、学習旅行で岩瀬牧場に行き、馬やウサギやヤギを見たのが思い出です。



すずき こうだい
鈴木 皓大
3年

4月8日に埴小学校に行きます。高城小の学習や思い出を忘れません。



よしなり こうせい
吉成 康晴
3年

ぼくは、高城小が閉校してしまうのはとても残念ですが、3年間とても楽しかったです。



さいごう ねね
西郷 寧音
3年

わたしは、高城小学校が閉校するのがとても悲しいです。いい思い出になりました。



きつない あゆむ
橋内 歩向
3年

高城小がなくなっても、地域の皆さん悲しまないでください。



ましこ まさや
増子 雅哉
5年

閉校しても、高城小学校のことを忘れないようにしたいです。優しい、いい大人になりたい。



てらうち そうた
寺内 颯汰
5年

3月31日に閉校してしまつたのは悲しいけれど、埴小では友達をたくさんつくってがんばりたいです。



みどりかわ しょうた
緑川 翔太
6年

高城小学校の思い出は、数えきれないほどあります。その思い出を忘れないでいたひです。



かなざわ みく
金澤 未来
6年

高城小学校で学んだ6年間、とても楽しかったです。母校に感謝し、中学校でもがんばります。



まつもと さき
松本 咲輝
6年

たくましく、かしく、気持ちの豊かな子。中学校でも、自分の目標としてがんばります。



ましこ ともや
増子 智哉
3年

今年で高城小は閉校になりました。見守ってくださいありがとうございました。



あおと みずき
青砥 瑞貴
4年

3月31日で高城小はなくなったけれど、これからもがんばりたいと思います。



しながわ みこと
品川 美琴
4年

3月31日で高城小はなくなったけれど、4月8日からは新しい埴小に通うので楽しみたいです。



かめやま たいせい
亀山 大晴
4年

埴小に行って、早くみんなとぼくの好きなサッカーをしたいです。今から楽しみです。



まつもと まい
松本 真依
4年

高城小学校は、とても歴史がある学校です。伝統を受け継ぎ、学ぶことができて良かったです。



かなざわ ことね
金澤 琴音
6年

高城小に裏山にはいい思い出がたくさんあります。これを忘れず、中学校でもがんばります。



すずき ことみ
鈴木 琴美
6年

裏山でよくみんなと遊んだことが一番の思い出です。これからも、勉強をがんばりたいです。



かなざわ ひな
金澤 比奈
6年

高城小は、自然に恵まれていてとてもすてきな学校でした。その生徒ということが誇りです。



あおと みらい
青砥 未来
6年

閉校するのは悲しいけれど、高城で学んだことや思い出を決して忘れずがんばります。



すずき あつや
鈴木 敦也
6年

ぼくは、みんなが仲良しで緑に囲まれた高城小が大好きでした。健児の城ぞ わが高校校！

それぞれの思いを胸に

最後の高城小学生40人 新たな未来へ

※敬称略

新たな一步を今—
ありがとう
そして さようなら

塙小学校との統合、そして閉校が決まってから約2カ月後の平成24年11月、校庭の花壇いっぱいにはチューリップの球根が植えられた。子どもたちと教職員、一人一人が学校への感謝の気持ちをこめて—。
明治6年に植田小学校として開校以来、地域に愛され、支えられ、輝かしい歴史と伝統を築いてきた。ここで学んだ卒業生は6, 333人を数える。

閉校記念式典で、高澤和子町教育委員会教育委員長に校旗を返納した小野則夫校長と児童代表の緑川翔大くん。その瞬間、会場では涙する姿が数多く見られた。

歴史は閉じた。しかし、終わりではない。新しい歴史の始まりを応援していきたい。学校のすばらしい思い出は、地域の皆さんの心の中にいつまでも輝き続ける。



塙町立高城小学校



100歳長寿

鈴木芳子さんに知事祝状



加藤清司県南保健福祉事務所長から記念品を受け取る芳子さん(右)

3月1日(金)に誕生日を迎えた鈴木芳子さん(大蔵)への祝状および記念品の贈呈式が同日、介護老人保健施設・久慈の郷で行われました。加藤清司県南保健福祉事務所長が県知事からの祝状と記念品を贈呈。続いて、菊池基文町長が町からの祝状と記念品等、町社会福祉協議会からの記念品を贈呈しました。また、星竹敏・久慈の郷施設長から記念品、孫の小島彩さんから花束が手渡され、次女の伊藤トシエさんが謝辞を述べました。

長寿の秘訣、日常生活で心掛けていることは「くよくよしないこと」だそうです。いつまでもお元気で！

地域待望の道・橋が完成 和久中平地区・農道と久線開通式

平成21年度から整備が始まった県営ふるさと農道緊急整備事業・農道と久線。開通式が3月28日(木)、川上地内の現地で行われました。菊池基文町長と関係者30人が出席。テープカットを行い、工事完成を祝い合いました。

総延長361m、和久橋も新しくなった農道と久線。これまでは幅員が狭く、通行車両がすれ違うのに支障をきたしていました。これらの解消を図るために道路改良工事を行いました。



関係者によるテープカット



左から：塙・菊池町長、柳津町長、B&G財団理事長、小野町長、石川町長

相互応援体制を確立 B & G財団施設設置 4 町による災害応援協定

B & G財団施設の海洋センター等を設置している塙町・柳津町・小野町・石川町。災害時における相互応援に関する協定調印式が3月5日(火)、小野町役場で行われました。菊池基文町長ほか3町長が協定書に署名押印しました。

これは、4町いずれかの地域において災害が発生した際、被災自治体の要請に応え、応急・復旧対策を円滑に行うため協定を結んだものです。平時からの交流が今後期待されます。



表彰式翌日、役場を訪れ受章報告を行いました(木田廣明団長)

表彰旗の最高位 消防庁長官表彰旗を受章



私たちの生命と財産、まことの安全を守るため最前線で活動する「塙町消防団」。本団と5つの分団で構成され、410人の団員が在籍しています。このたび、数ある表彰旗の中でも最高位である「消防庁長官表彰旗」を受章。表彰式は3月6日(水)、東京都・日本消防会館で行われ、佐藤悦雄・松本源市両副団長が表彰旗を受け取りました。その翌日、木田廣明団長は役場を訪れ、菊池基文町長に受章の報告を行いました。



町内を行進し表彰旗を披露(記念行進パレード)

受章を祝い、記念行進パレードが3月24日(日)午後3時

15分から行われました。町営体育館前から役場まで堂々と行進し、町民に表彰旗を披露しました。その後、塙農村勤労福祉会館で祝賀会が行われ、出席者たちは栄えある表彰を祝い合いました。

火災はもちろん災害時にいち早く対応し活動する消防団。また、昨年は消防操法大会で全国大会に初出場するなど、活躍の場を広げています。われらが誇り・塙町消防団。今後の活動がますます期待されます。

塙町消防団の主な受賞歴

| | |
|-------|-----------------------------|
| 昭和29年 | 福島県 無火災競争運動期間 無火災表彰 |
| 昭和54年 | 財団法人日本消防協会 表彰旗 |
| 昭和56年 | 福島民友新聞社表彰 民友旗 |
| 平成10年 | 消防庁長官表彰 竿頭綬 |
| 平成15年 | 福島県知事 表彰旗 |
| 平成20年 | 東日本旅客鉄道株式会社(JR) 感謝状(豪雨災害活動) |
| 平成21年 | 財団法人福島県消防協会 表彰旗 |
| 平成23年 | 福島民報社表彰 民報金ばれん |
| 平成24年 | 消防庁長官 感謝状(被災消防団への被服提供) |
| 平成25年 | 消防庁長官 表彰旗 |

今後とも、皆さまのご支援 をよろしくお願いします

●生まれてから、むし歯がない子(4人)



深谷 瑠花ちゃん(板庭) 青砥 秀磨くん(伊香) 金澤 珠琳ちゃん(台宿) 三瓶 優空ちゃん(柳町)

のびのびすくすく

2月26日(火)に行われた3歳児健診(受診者13人)で、むし歯が1本もなかった子どもたち4人を紹介します。

固定資産評価審査委員会の役割
 地方自治法に規定に基づき市町村に設置。固定資産税台帳に登録された事項に関する不服の審査および決定その他の事務を執行する機関。
 固定資産の価格については、固定資産税に重大な影響をもつため、審査の公平という点から市町村長に処理させることとはせず、独立した合議制の機関で慎重に審査決定する。

公平・中立な立場で審査 固定資産評価審査委員に辞令交付

3月定例議会で固定資産評価審査委員会委員の同意を受けた生方光明さん（常世北野）。辞令交付式が3月19日（火）、役場応接室で行われ、菊池基文町長が辞令を手渡しました。
 なお、任期は平成28年3月18日までです。



生方光明さん

町職員 人事異動

退職者（3月31日付け）

- ※（ ）内は旧所属
- ▼菊池正彦（教育委員会図書館参事兼館長）
- ▼佐川義典（埴保育園参事兼園長）
- ▼佐藤美智子（教育委員会埴幼稚園長）
- ▼藤田 衛（まち整備課課長補佐）

異動（4月1日付け）

- ※（ ）内は旧所属
- 【課長相当職】
- ▼教育委員会教育次長兼学校教育課長 鈴木義雄（教育委員会学校教育課長）
- ▼埴保育園長 江面政美（会計室副主任幹兼会計係長）
- ▼教育委員会図書館長 鈴木雅人（健康福祉課課長補佐兼福祉係長）
- ▼教育委員会埴幼稚園長 菊池孝子（教育委員会常豊幼稚園長）
- ▼教育委員会埴原幼稚園長 北郷恭子（教育委員会埴原幼稚園教頭）
- 【課長補佐相当職】
- ▼まち整備課課長補佐 八幡繁

- 樹（町民課課長補佐）
- ▼教育委員会生涯学習課課長補佐兼生涯スポーツ係長 鈴木義房（教育委員会生涯学習課課長補佐兼公民館係長）
- 【係長相当職】
- ▼町民課副主任幹兼収納係長 小野政広（水道課副主任幹兼下水道係長）
- ▼健康福祉課副主任幹兼福祉係長 吉成真理子（議会事務局主任主任書記）
- ▼健康福祉課副主任幹兼国保係長 齊藤典子（町民課副主任幹兼収納係長）
- ▼会計室副主任幹兼会計係長 芳賀洋子（健康福祉課副主任幹兼国保係長）
- ▼水道課副主任幹兼下水道係長 生田目敏夫（教育委員会生涯学習課副主任幹兼生涯スポーツ係長）
- ▼教育委員会副主任幹兼生涯学習係長兼公民館係長 小野智史（教育委員会副主任幹兼生涯学習係長）
- ▼町民課主任主査 近藤正伸（健康福祉課主任主査）
- ▼まち整備課主任技査 菊池和弘（教育委員会学校教育課主任技査）
- ▼教育委員会埴幼稚園主任主査教諭 鈴木明子（教育委員会埴原幼稚園主任主査教諭）
- ▼教育委員会埴原幼稚園主任主査教諭 金澤幸子（教育委員会

- 埴幼稚園主任主査教諭）
- 【主査相当職】
- ▼町民課主査 鈴木しのぶ（教育委員会学校教育課主査）
- ▼町民課主査 割貝直輝（まち整備課主査）
- ▼町民課主査 金澤秀憲（まち整備課主査）
- ▼健康福祉課主査 薄井和憲（水道課主査）
- ▼まち振興課主査 海野芳洋（教育委員会生涯学習課主査）
- ▼水道課主査 関根宏二（総務課主査）
- ▼議会事務局専門主任書記 下重敬子（町民課主査）
- ▼教育委員会学校教育課主査 白石宗光（まち整備課主査）
- ▼教育委員会学校教育課主査 藤田和成（町民課主査）
- ▼教育委員会生涯学習課主査 星 周児（まち振興課主査）

- 【主事相当職】
- ▼総務課主任主事 菊池克輔（総務課付福島県派遣）
- ▼まち整備課主任主事 藤田克也（水道課主事）
- ▼まち振興課主事 鈴木健生（町民課主事）
- 【派遣】
- ▼総務課付福島県 藤田雅士（まち振興課主事）
- ▼総務課付白河地方広域市町村圏整備組合 羽田友哉（まち振興課主任主事）



新採用（4月1日付）



教育委員会
埴幼稚園教諭
藁谷美里



教育委員会
公民館主事
鈴木翔太



水道課主事
池澤宏高



まち整備課主事
佐藤将成



まち振興課主事
福田智基



健康福祉課主事
吉田倫之



総務課主事
鈴木裕大

をえる くらさ 国民年金

町民課住民係
 ☎(43)21114
 白河年金事務所
 ☎0248(27)4161

気になる年金記録 再確認キャンペーンを実施しています

持ち主が分からない記録の持ち主を探しています
 日本年金機構で、紙台帳にある記録とコンピュータの記録とを突き合わせ、持ち主不明の記録を本来の持ち主のものとするのもちろん、皆さまに「ねんきん特別便」を送り、心当たりの記録についてお尋ねしてきました。しかし、今なお「未統合の記録」が多数残っています。

記録確認を呼びかけています

年金受給者、被保険者すべてに個別に「ねんきんネット」利用のためのアクセスキーを郵送し、ご自身の記録確認を呼びかけています。
 漏れや誤りが起こりやすい

気になる年金記録がある方はご相談を

ご自身の年金記録に「漏れ」や「誤り」があるのでとご心配のある方は、年金事務所にご相談ください。

約9人に一人、年金記録が見つかっています

- 例1 若いころに勤めていた記録が見つかった。
- 例2 結婚前の旧姓の記録が見つかった。
- 例3 名前の読み方が誤って登録されていた記録が見つかった。

窓口等業務を民間委託します 4月1日から一町立図書館

町では、4月から町立図書館の窓口等業務を民間事業者に委託します。民間事業者の専門知識や手法を活用した効率的な運営を導入することにより、利用者へのサービス向上に努めます。町民の皆さまの書齋となるよう、今後もより利用しやすい図書館づくりを目指します。どうぞご利用ください。

■委託先 株式会社内田洋行

本社は東京都中央区。県内には郡山オフィスがある。

■主な事業内容 民間企業・公共団体向けの情報関連事業



さまざまな催しを行っています（春のおはなし会）

図書館情報

4月の
テーマ

食育の本



図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月は、その中から一冊の本を紹介します。
 なお、希望する本が貸し出し中の場合、予約もできます。
 ☎(43)0808

「しょうたとなっとう」

星川ひろ子・星川治雄／写真・文
 小泉武夫／原案・監修
 ポプラ社



●ものがたり

納豆が嫌いなしょうた。ある日おじいちゃんと一緒に畑に行き、大豆をまきます。畑から芽が出て、花が咲き、枝豆ができ、やがて大豆になり、大豆から納豆ができるまでが写真で綴られた写真絵本です。写真なので、大豆の成長の様子もよくわかります。普段はお店で買ってくる納豆が、できるまでに実にかくさんの時間と手間がかかっていることに気付かされます。しょうたにとっては、大好きな枝豆と大嫌いな納豆が、実は同じ大豆から作られているという驚きも楽しいです。
 おじいちゃんのさりげない優しさとぬくもりのある方言が何とも言えない余韻を残してくれる絵本です。

県外から埴町に移り住み、地域を元気にする取り組みを進める地域おこし協力隊の2人。住んでみて、活動してみて感じたことなどをつづった彼らの体験記。今月号では、加納さんを掲載します。

ヤチュカフェライフ

加納耕介



かのうこうすけ
27歳・兵庫県神戸市出身。
(株)デイリースポーツ社を経て、平成24年12月から地域おこし協力隊に。
毎日更新中のブログ、ツイッター、フェイスブックは「加納耕介」で検索。

おとといはロッキングチェア、昨日はウッドデッキ、ほんで今日は竹のマグカップ。さて、明日はどんなもん作ったのかな。まいど、矢塚分校自称校長の加納です。2月号の時点ではまだまだ妄想レベルだった矢塚分校カフェ化計画。2月16日にカギを手に入れ、50近い校庭の雪をぶん投げながら理想を描き、1カ月半でわりとマジメに構想を練る段階までやってきました。

というか、コミュニティスペースとしてはすでにがっちり機能していて、職員室で夜中までどんちゃん騒ぎなんてこともしょっちゅう。区内や町内はもちろん、東京からも来てます。今月は名古屋と大阪から予約入ってます。「矢塚にカフェなんかつくっても誰も来ないよ」よく言われるけど、矢塚だから来るんです。理由は・・・来てみりゃ分かります。

ちなみに、食品営業許可を正式に取るまでは、コーヒー出して酒とつまみは持ち寄りです。感じてゆくりとやっていく予定。営業時間は9時～19時（以降は酔いませで何時まででも）、定休日は毎週月曜。所用で出かける場合もありますので、そこまで言うならいっぺん行ってみたらという方は、事前に加納 ☎080(1661)4975まで一報ください。しつこいけど、来てみりゃ分かります。これからの展開イメージは、まず校庭をキャンプ場として無料開放。テントやピザ窯、バー

ベキューセットなどの有料オプションを徐々に増やしていきたい。頃合いを見てカフェスペースも有料店舗化。空き家再生事業で申請中の調理場設置が無事に完了すれば、矢塚ブランドの加工食品づくりと並行させながら、「カフェバー&アウトドア・矢塚分校」として持続可能なビジネスモデルを本格的に構築していく。

自分で言うのもなんやけど、残り2年半でこれ全部実現させたら大したもん。でもきつとできる、できる気がしてしょうがない。豊かな自然とうまい空気が、そして何よりとてもなくポジティブで明るい矢塚のみんなが、いつもそばにいてくれる。東京から来たサラリーマンに「こんなに笑ったのは久しぶり、もう東京に戻るのがバカらしくなっ

矢塚のマンパワーを誇りに思う。世界に出すぞ、この二文字。

てきた」と言わせる矢塚のマンパワーは、田舎とか都会とかそんな枠をはるかに超えて、世界で勝負していけると本気で思っています。

そんな大げさな？ ほんなら最後にもう一回。来てみりゃ分かります。



実現させてみせる—矢塚分校カフェ化計画



はなわふれあい スポーツクラブ通信 4月号

サークル活動、イベントなどに参加希望の方は、はなわふれあいスポーツクラブ事務局にお問い合わせください。

どなたでも

- バドミントン
日時：毎週水曜日 19:00～21:00
会場：埴町営体育館 アリーナ
- 第15回はなわふれあいウォーキング77-
日時：4/27(土)
内容：喜多方桜ウォークに参加。帰りに入浴などの休憩あり
- ノルディックウォーキング教室①
日時：桜満開の週末 9:00～12:00
※日程は申込者に直接連絡
場所：道の駅から桜の下を歩く
- ノルディックウォーキング教室②
日時：5/12(日)
場所：丸ヶ草～江竜田の滝(鮫川村)
- バレー教室
日時：毎週火曜日 19:00～21:00
会場：埴中学校体育館
- 癒しの時間
日時：4/23(火) 19:00～20:30
毎月第4火曜日に開催予定
場所：埴町公民館
- アスレチッククラブ
日時：毎週木曜日 19:00～20:30
会場：埴町営グラウンド
- カローリング出前教室
内容：ご希望の日時と場所に無料で出張します。

園児・小学生対象

- キッズクラブ(基礎運動教室)
日時：毎週月曜日
園児コース 15:15～16:05
小学生コース 16:10～17:00
会場：埴町営体育館 アリーナ
※4/29,5/6はお休みします。

小学生対象

- サッカー教室
日時：要問い合わせ
会場：埴町営グラウンド

中学生対象

- 野球教室
日時：毎週水曜日 18:30～20:30
会場：埴中学校体育館

女性対象

- 簡単ピラティス教室
日時：4/11(木) 19:00～20:00
※毎月第2・4木曜日に定期開催予定
会場：埴町公民館

シニア対象

- グラウンド・ゴルフ
日時：毎週水曜日 9:30～11:30
会場：天候とグラウンド状況によるので、その都度要問い合わせ
※4/3,5/1は初心者向け教室も同時開催
- 第10回グラウンド・ゴルフ大会
日時：5/22(水) 10:00～12:00
会場：湯遊ランドはなわ中庭 片貝地区多目的グラウンド
- 卓球
日時：毎週木曜日 9:30～11:30
会場：埴町営体育館 剣道場
※4/4,5/2は初心者向け教室も同時開催
- カローリング
日時：毎週金曜日 9:30～11:30
会場：埴町営体育館 アリーナ
※4/4,5/2は初心者向け教室も同時開催

はなわふれあいスポーツクラブ

URL <http://hanawa-fsc.jp>
埴町大字埴字桜木町80(埴町公民館内)
☎0247-43-2644 FAX43-1883
mail: hanawa.fsc@gmail.com

携帯電話から
今すぐアクセス!



押し花教室 生徒募集

押し花に親しみ、作品を制作する場として平成25年度長期講座「押し花教室」を開催します。

- 開催月日：5/16(木),6/20(木),7/18(木),8/22(木),9/19(木),10/19(土)
- 開催日時：午後7時～午後9時
※10/19(土)のみ午後1時0～午後5時
- 学習内容：押し方、作品づくりなど
※10/19(土)は文化祭に出展する作品製作
- 開催場所：埴町公民館
- 募集人数：一般成人15名程度(高校生も可)
- 受講料：材料費のみ
- 講師：西川道子さん(石川町)
- 申し込み：埴町公民館 ☎43-0320
- 申込期限：4月22日(月)まで

高齢者学級「長寿学園」 受講者募集

平成25年度の長寿学園生を募集します。5月から平成26年2月まで、月1回(全8回程度)のペースで、一般教養や健康講座、ものづくりなどを学習していきます。あなたもぜひ一緒に活動してみませんか。

- 対象：埴町在住で60歳以上の希望者
- 申し込み：埴町公民館にある申し込み用紙に必要事項を記入し、4月22日(月)までに提出してください。なお、5月以降の活動開始後も随時募集しています。
- 問い合わせ：埴町公民館 ☎43-0320

情報くらしの報

役場の電話番号
☎ 0247-43-2111(代表)
役場のFAX
0247-43-2116
町のホームページアドレス
http://www.town.hanawa.

fukushima.jp/
町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.
fukushima.jp
※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】
総務課 ☎ 43-2111
町民課 ☎ 43-2113
☎ 43-2114
健康福祉課 ☎ 43-2115
包括支援センター ☎ 43-2224
☎ 43-2227
まち振興課 ☎ 43-2112
☎ 43-2118
まち整備課 ☎ 43-2117
水道課 ☎ 43-2148
会計室 ☎ 43-2149
埴保育園 ☎ 43-0377
議会事務局 ☎ 43-2150
農業委員会 ☎ 43-2119
教育委員会 ☎ 43-4050
学校教育課 ☎ 43-2644
生涯学習課 ☎ 43-0320
公民館 ☎ 43-0808
図書館 ☎ 43-0188
給食センター ☎ 43-0378
東白衛生組合 ☎ 43-0378

試験

町職員採用候補者

総務課

平成26年度採用予定者の試験は、今年7月に実施する予定です。職種は、行政職(大学卒程度)および資格免許職(幼稚園教諭等)で、採用予定人数はいずれも若干名です。詳しくは、広報はなわ5月号に掲載する予定です。

問い合わせ

総務課総務係
☎(43)2111

相談

国保・被保険証の更新

健康福祉課

現在使われている被保険証は、3月31日が有効期限になっています。4月1日からは、新しい被保険証を使用させていただきます。新しい被保険証は郵送されませんので、役場窓口で更新手続きをお願いします。

なお、新たに学校入学などで必要になる方は該当の届け出を、被保険証をお持ちで学校を卒業等で在学していない方は非該当の届け出が必要です。※非該当の届け出をしないと、国保税が課税され続けますので、早めに手続きしてください。

申請に必要なもの

- ①世帯の被保険証
- ②旧被保険証

おくやみ申し上げます

2月16日から3月15日までの届け出亡くなられた方

| 年齢 | 住所 |
|-----|---------|
| 88歳 | ユハイムはなわ |
| 87歳 | 片貝宿 |
| 75歳 | 台倉 |
| 99歳 | 那河内 |
| 81歳 | 東河内 |
| 90歳 | 上町 |
| 47歳 | 上渋井 |
| 79歳 | ユハイムはなわ |
| 95歳 | 常世北野 |
| 72歳 | 代官町 |
| 95歳 | ユハイムはなわ |
| 90歳 | 片貝 |
| 69歳 | 代官町 |
| 96歳 | 大蔵 |
| 94歳 | 大蔵 |
| 90歳 | 栄町 |

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出ください。
※「こんにちは赤ちゃん」は31ページに掲載してあります。

町が独自に調査した放射線測定値を報告します

(町内35カ所)

| 片貝分館 | 3/21 | 0.10 |
|--------------|------|------|
| 塙町役場 | 3/21 | 0.10 |
| 道の駅はなわ | 3/21 | 0.12 |
| 上渋井集会所 | 3/21 | 0.14 |
| 台宿分館 | 3/21 | 0.14 |
| 稲沢集会所 | 3/21 | 0.13 |
| 上石井分館 | 3/21 | 0.10 |
| 吉成運送第2倉庫前 | 3/21 | 0.11 |
| 伊香分館 | 3/21 | 0.12 |
| 古宿屯所前 | 3/21 | 0.13 |
| 高城地区公民館 | 3/21 | 0.11 |
| 真名畑分館 | 3/21 | 0.12 |
| 常豊地区公民館 | 3/21 | 0.10 |
| 西河内分館 | 3/21 | 0.09 |
| 堀越集会所 | 3/21 | 0.12 |
| 小高集会所 | 3/21 | 0.13 |
| 東河内分館 | 3/21 | 0.14 |
| 一本木集会所 | 3/21 | 0.13 |
| 中塚集会所 | 3/21 | 0.12 |
| 笹原地区公民館 | 3/21 | 0.10 |
| 川上四区集会所 | 3/21 | 0.08 |
| 大蔵分館 | 3/21 | 0.14 |
| 前田集会所 | 3/21 | 0.12 |
| 木野反分館 | 3/21 | 0.10 |
| 湯遊ランドはなわ | 3/21 | 0.10 |
| 折箸集会所 | 3/21 | 0.12 |
| 殿畑集会所入口 | 3/21 | 0.12 |
| 石堀子集会所 | 3/21 | 0.12 |
| 矢塚集会所 | 3/21 | 0.11 |
| 那倉分館 | 3/21 | 0.14 |
| 大平・大竹正勝さん宅入口 | 3/21 | 0.13 |
| 那倉呼石入口バス停前 | 3/21 | 0.15 |
| 田代権現堂 | 3/21 | 0.14 |
| 田代分館 | 3/21 | 0.13 |
| 丸ヶ草分館 | 3/21 | 0.10 |

単位：マイクロシーベルト/時間
地上1mで測定
※測定機器：シンチレーションサーベイメータ日立アロカTCS172
※福島県ホームページにおいて、福島県放射線測定マップが公表されています。

身体障がい者相談会

県障がい者総合福祉センター

肢体(手足と身体)不自由者の相談会を開催しますので、ご利用ください。

開催日(巡回相談会)

○白河市老人福祉センター
4月16日(火)・9月3日(火)
平成26年2月18日(火)
○棚倉町保健センター
6月4日(火)・12月3日(火)

※その他、郡山市やいわき市などでも実施します。福島市では来所相談会を開催しますので、詳しくはお問い合わせください。

受付時間

午後1時～午後3時

担当医師

白河厚生総合病院
部長 鈴木幹夫

問い合わせ

県身体障がい者福祉課

☎024(525)8186

お知らせ

固定資産税の縦覧が始まります

縦覧制度は、他の土地や家屋の評価額と自分の固定資産の評価額を比較して、自分の固定資産の評価額が適正かどうかを確認していただくための制度です。

縦覧期間

4月1日(月)～5月31日(金)
午前8時30分～正午
午後1時～午後5時15分

縦覧できるもの

※土・日・祝日を除く
①土地価格等縦覧帳簿

町民課

福島県立医科大学

県民健康管理センター
☎024(547)1786
ホームページ

あなたの健康、見守ります

野鳥の捕獲や飼育はできません

県南地方振興局

メジロやホオジロをはじめとする野鳥の捕獲や飼育は「鳥獣の保護および狩猟の適正化に関する法律」により、原則として禁止されています。野鳥は昔から鳴き声を楽しむために飼育されてきましたが、現在は愛がん目的のために野鳥を捕まえることも飼うこともできません。野鳥のさえずりは自然の中で楽しんでください。

問い合わせ

福島県県南地方振興局

②家屋価格等縦覧帳簿

縦覧できる人

町内に所在する土地・家屋の固定資産税の納税義務者。※減免や非課税、課税標準額が免税点未満などで税額が生じていない人は縦覧できません。

必要なもの

○運転免許証などの本人確認できるもの
○代理人の場合は委任状

手数料 無料

縦覧場所・問い合わせ

町民課課税係
☎(43)2113

70歳から74歳の皆さんへ医療機関窓口負担1割を継続

健康福祉課
70歳から74歳までの人が窓口で支払う医療費の自己負担

県民環境部県民生活課

☎0248(23)1548
福島県自然保護課
☎024(521)7210

下水道 正しく使って環境を守る

水道課
台所から大量の油を流したり、トイレや宅内マスから下着や固形物などを誤って流したりしないよう、普段からちょっとした気配りと定期的な宅内のマスの清掃をお願いします。

公共下水道や農業集落排水施設など家庭や企業などから排出される生活排水等は、地下に埋設された下水管を通して処分場に集められ、微生物や薬品によって分解・処理され浄化されています。

下水道管に油や異物が流れ

一人一人の意識が大切です。みんなで地域の水環境を守りましょう。

問い合わせ

水道課
農業集落排水係・下水道係
☎(43)2148

TOWN TOPICS



どうぞ安らかに(全議員と全職員が黙とうをささげました)

犠牲者の冥福を祈る

—東日本大震災から2年—

マグニチュード9.0 国内観測史上で最大、世界でも歴代4番目の大地震、それに伴い発生した津波や原発事故。東日本大震災・地震発生から2年を迎えた3月11日(月)、全議員および全職員が役場庁舎前の駐車場に整列し、午後2時46分に1分間の黙とうをささげました。

この日は、平成25年第2回議会定例会が開会中でしたが一時中断。全員で犠牲者の冥福を祈るとともに、復興への歩みを進めることを誓い合いました。「忘れまい あのとき」を心に刻み一。

この3年間は絶対忘れない

—塙中学校・卒業証書授与式—

塙中学校の平成24年度第47回卒業証書授与式が3月13日(水)、同校体育館で行われました。結城久直校長が、卒業生116人一人一人に卒業証書を手渡しました。

運動や勉強、ボランティア活動などさまざまなシーンで活躍した卒業生たち。式の最後にあった、卒業生による合唱「旅立ちの日に」。今 別れの時 飛び立とう 未来信じて はずむ 若い 力信じて この広い 大空に一。卒業生たちの新たなスタートを応援します。



左：今までありがとう(親へ感謝の花を贈りました)
下：今日で学びやとの別れ—卒業生による合唱「旅立ちの日に」



きれいに仕上げたい一。郡内でただ一人の職人・渡辺伝さん

今では貴重なこの風景

—かやぶき屋根の葺き替え作業が町内で見られました—

明治はじめに造られたという鈴木文芳さん(大蕨)宅のかやぶき屋根。この葺き替え作業が2月中旬から3月末にかけて行われました。作業しているのは、西河内出身で現在は棚倉町在住の渡辺伝さん(83歳)。東白川郡内ではただ一人、全国でも数少ないかやぶき職人です。

25歳のときからはじめたこの仕事。「請け負った仕事(屋根)はきれいに仕上げ、満足してもらいたい」。後世まで残したいこの作業風景。仕事に取り組む姿は、とても輝いていました。

出荷者・買方双方の要望に応える

—奥久慈木材流通センター・選別機更新落成式—

上渋井にある原木集散基地「奥久慈木材流通センター」。原木選別機の更新落成式が3月5日(火)、現地で行われました。白石禎彦理事長ほか関係者30人が出席。テープカットを行い、完成を祝いました。

今回、昭和61年に導入した旧1号機を改め3号機として更新。仕分け速度は約20%アップ、故障などによる停止時間も軽減され、取扱量は30%以上増量が可能になります。今後も、木材産業の発展に寄与されることが期待されます。



上：仕分け速度や取扱量がアップ(更新された選別機)
左：流通の拠点に(関係者によるテープカット)

思い出に残る活動を

—B & G体験クルーズ激励金交付式—

3月25日(月)から30日(土)にかけて、5泊6日(全て船内泊)で実施したB & G体験クルーズ。塙町参加者5人への激励金交付式が3月18日(月)、役場応接室で行われました。

東京晴海埠頭から小笠原諸島父島間を航行往復するこのクルーズ。海洋観察や自然環境学習、スノーケリングやホエールウォッチングなどの活動を実施。参加者は、普段ではできないさまざまなことを体験し、一回りも二回りも大きくなって帰ってきました。



いろんな経験をして学べます!
(左から：青砥未来さん、寺内真由さん、佐藤春菜さん、吉成裕菜さん、石川紗帆さん)

現場の生の声を聞き学ぶ

—地域医療体験研修—

地域医療に関心を持つ医学部の学生を対象にした地域医療体験研修が3月12日(火)から13日の2日間、東西白河地方の医療機関などで行われました。福島県立医科大学7人、山形大学医学部1人、秋田大学医学部2人の計10人が参加。塙厚生病院の視察では、佐川恵一院長による講義があったほか、この日開催されていた「東白川郡医療・多職種研修会」を見学しました。

参加した医大生は、地域医療の現状を知るとともに理解を深めていました。



地域医療の現状を知る(研修会を見学した医大生)

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。

取材に伺います。

※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、総務課☎43-2111までご連絡ください。



鈴木 佳代さん (伊香)

職業 看護師
趣味 ドライブ 買い物
好きな言葉 「なんとかなる」

自然遊び

私は塙町の自然が大好きです。塙町に生まれ育ち、小さいころは兄弟や近所の友人たちと外で遊ぶのが日課でした。春は草花摘み、夏はカブトムシ捕りや小川で水遊び、秋はトンボやイナゴを捕まえ、冬は雪遊びをしたり草木で秘密基地を作ったりと、塙の自然に囲まれて育ってきました。

しかし、年頃になるにつれ外で遊ぶことも少なくなり、高校時代は塙町を出て都会で暮らすことを夢見ていました。その後、数年ほど塙町を離れていましたが、ときどき実家に帰りきれいな星を見ると、すぐホッとしたのを覚えています。現在は、縁あり塙町に嫁ぎ、2人の子どもの育児と仕事に追われる日々を送っています。外遊びが大好きな子どもたちは、休日になると庭を走り回り、暖かい日は近くの田んぼ道を散歩しては、虫を捕まえたり草花を摘んだりして楽しんでます。そんな子どもたちの姿を見ると、昔の自分を見ているようでとても懐かしい気持ちになります。また、庭には義父お手製の木で作ったブランコや竹鉄砲などがあるほか、夏には竹を切ってもらい外で流しそめんをして、子どもたちだけでなく大人も一緒に楽しんでます。自然豊かな塙町に住んでいるからこそできることであり、自然のいろいろな体験をさせられることをうれしく思っています。

■次回は上妻智子さん(台宿)です。

最近忙しいことを理由に、一緒に遊んであげられないこともあるけれど、子どもたちにはいつまでも自然を好きでいてほしい、そして自然を通して人や物を大切にする心に付けていってほしいと思います。

今の自分

私は去年の夏にけがをしてしまい、両腕と骨盤の3カ所の骨折を初めて知りました。骨を折る痛みを初めて知りました。それから入院となり、ベッドでの生活が始まり3カ月の入院生活をしました。歩けないつらさを知り、トイレにも行けずつらく悔しかったです。歩くまでに車いすや松葉づえの経験をし、使い慣れないことからのいら立ちや嫌気がさしました。健康であった前の自分がうらやましく思い、今の自分はふがいないと悲しくなり落ち込んでいました。

筋力がどんどん落ちていき、脚の太さも変わっていききました。そして、2カ月も歩いていけなかったので歩くのか?と不安になりました。歩くことへの恐怖心が出てきました。リハビリを重ねていくうちに加重していき、少しずつ歩けるようになりました。今は失った筋肉を取り戻すため、毎日歩いています。

医師からは、体が元に戻るまでには1年と言われました。正直まだ右腕の骨はくっついてはいませんが、できることを少しずつ自分なりに行っていき、仕事ができるような体に戻していくのが今の自分の目標です。

元気で健康な体は、何よりもの宝です。経験したからこそ思えることだと思えます。家族や友人には、心配や迷惑をかけてしまいました。言葉では言い表せないほど、とても感謝しています。

仕事は家で大工をしているので、筋力が必要です。現場に戻るまでには、失った筋力を取り戻したいです。一応、春には復帰の予定でいます。早く、父や兄と3人でまた仕事したいと思う今日このごろです。



神永 純光さん (山形)

職業 大工
趣味 映画鑑賞 読書
好きな言葉 「平和」 「安全第一」

「東京塙会」からこんにちは

No.111



津田 洋子さん 東京都日野市在住 (西河内出身、旧姓：鈴木)

このコーナーでは、東京塙会の皆さんの懐かしい思い出やふふささへの思いを紹介しています。

私の古里

塙町の皆さん、東京塙会の皆さん、こんにちは。私は、東京塙会結成当時からお世話になっております。古里の情報やその他のことが手に取るように書かれていること、本当にありがたい感謝しています。

西河内に生まれ・育ち、昭和36年に東京に出て、東京都に勤めました。その時代の東京は、オリンピックを前にどこも工事ばかりで大変でした。大きな建物、道路は広く、私

には見るもの聞くものとても刺激が強く、夕方になると田舎を思い出して寂しい思いをしたものです。そんなとき、小学校の遠足で行った青年山の山ツツジ、ヤマザクラがきれいだったこと。山・全体がとても美しく今も目に浮かびます。

運動会や学芸会は、西河内と東河内は分校だったので、八幡まで歩いて行き合同で行いました。4年生からは八幡本校まで毎日通学し、帰りは道草をし、弁当の残りを土手で食べたり、マンガを読んだ

り遊びながら帰ったことが遠く懐かしい思い出となっています。

今も2年に一度同級会を開催してくれる友がいます。本当にありがたいです。塙を出てもう半世紀にもなるのに、塙町のことが何でも知っているような、そんな気持ちで生活できています。それは、友達や東京塙会の皆さん、そして親や姉弟も塙近隣にいるので、年に何度も塙に帰り、道の駅や湯遊ランドにお世話になっているからだと思います。田舎では、放射能や風評被害等の心配ごとが絶えないと思います。自分なりにがんばろう塙町を毎日応援しています。

東京塙会の役員の方さま、大変お世話になっております。東京塙会がますますの発展をするよう祈念致します。(次回は、埼玉県坂戸市在住の下重伸子さんです)

こんにちは赤ちゃん

2月16日から3月15日までの届け出

| 出生児名 | 父 | 母 | 月/日 | 住所 |
|---------------------------|----|----|------|----|
| 玉木 結奈 <small>ゆな</small> | 透 | 美咲 | 2/21 | 大町 |
| 杉山 紫龍 <small>しりゅう</small> | 優弥 | 梓 | 2/24 | 植田 |
| 金澤 頼 <small>らい</small> | 治樹 | 靖子 | 3/9 | 台宿 |

※「おくやみ申し上げます」は27ページに掲載してあります。

心温まる善意に感謝(3月分)

- 松本 一郎 様 (上石井) 2,457円 (風呂山公園つつじ募金)
- 下重 好 様 (竹之内) 交通安全の手作りお守り90個 (町内各小学校新入児童へ・通算24回目)
- 塙テレビ共同聴視施設組合 様 150,000円 (風呂山公園つつじ募金) 150,000円 (羽黒山里山再生事業) 巻上2Way映写スクリーン8台(塙小学校へ)
- 手作りパン麦倉 番場 勇 様 (棚倉町) 3,000円 (風呂山公園つつじ募金)
- 絵画教室 教室生一同 様 10,000円 (町振興のために)
- 新小岩銀座商店街復興組合 様 (東京都葛飾区) (さくらまつり実行委員会) 203,173円 (復興支援・子どもたちのために)



都市住民がりんご収穫を体験（昨年行った都市交流事業 結の交流）

都市交流を積極的に行い、
風評被害をなくしたい。

親子で家業の相良園を営む

相良 次彦さん

PROFILE：さがら・つくひこ（植田・35歳）
 埼玉県中学校卒業後、水戸農業高校、東京農業大学に進学。同大学卒業後、東京の花市場に3年半勤務。その後、家業を継ぐため帰郷へ戻る。家業を営むほか、都市住民の農業体験受け入れを昨年行った。

「フィールドに出て、実際に体験してもらうのが一番」。昨年、県南地方振興局主催「東白川都市交流事業 結の交流」で、都市住民の農業体験を受け入れた。座談会など話をするだけではだめ。体験してもらうことで理解や交流が深まると話す次彦さん。

子どものころから手伝いをしていたこともあり、家業を継ぐことに抵抗はなかったという。現在、31年前にりんご栽培を始めた父・安彦さんとともに相良園を経営。全部で2畝もの畑でりんごを中心に栽培、年間でコンテナ1,500個もの量を収穫。2代目として家業を守り受け継いでいる。

5年ほど前からは、自宅にあっ

た「味噌蔵」を利用できないかと思ひ、みそづくりを始める。今では、りんごと並び看板商品だ。また、ホームページを開設し、県内外へPR活動を展開している。

今後は、加工品の幅を広げるほか、関係機関と協力して都市交流事業にも積極的に参加や受け入れをしたい。風評被害^{ふうひょうひがい}に向けては、細かく丁寧な説明をしていくしかないと話す。

当たり前のことを当たり前に行っているだけ。安心・安全なりんごをお客様にお届けするために一

震災以降も、暗い展望を持ったことはない。今やれることを全力で。前向きに取り組む姿がそこにあった。



● 休日の当番医院

| | | | |
|----------|----------------------------|----------|------------------------|
| 4月7日(日) | 大木医院 ☎ 33-2424 | 4月29日(月) | 塙厚生病院 ☎ 43-1145 |
| 4月14日(日) | 金澤医院 ☎ 46-2312 | 5月3日(金) | 木村医院 ☎ 46-3528 |
| 4月21日(日) | 東白川中央医院 ☎ 33-3263 | 5月4日(土) | あらまちクリニック ☎ 33-8018 |
| 4月28日(日) | おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468 | 5月5日(日) | 和田医院 ☎ 33-2012 |

発行・編集／塙町役場 〒963-1549
 印刷／佐藤印刷所 福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21番地
 FAX (0247) 431211

▼140年の歴史を築いた高城小が閉校。閉校は寂しいですが、すてきな思い出は心の中にずっとあり続けます。このたびの人事異動により、広報担当を離れることになりました。この5年間さまざまな場面取材し、皆さんとともに泣いたり笑ったりしました。広報での思い出は私の宝物です。今後とも広報はなわをよろしく願っています。ありがとうございました。

関根宏二



● 今月の納税

軽自動車税 全期
 納期限 4月30日(火)

● 町の人口 9,711人(3月1日現在)

男性 4,778人(-2) 世帯数 3,305戸(+1)
 女性 4,933人(-2) ()内は前月比

必ずチェック!
 最低賃金 664円(時間額)
 使用者も労働者も

福島県最低賃金が改定されています。
 産業別最低賃金など、詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ
 福島労働局賃金室 ☎ 024-536-4604
 白河労働基準監督署 ☎ 0248-24-1391